

## 平成30年度安曇野市教育委員会12月定例会会議録

日 時：平成30年12月26日（水）午後1時30分

場 所：安曇野市役3階「会議室301」

### <出席者>

教育委員：教育長 橋渡勝也、教育長職務代理者 唐木博夫、教育委員 須澤真広、  
教育委員 横内理恵子、教育委員 二村美智子  
事務局：教育部長 西村康正、学校教育課長 平林洋一、生涯学習課長 臼井隆昭、  
文化課長 那須野雅好、図書館交流課長 丸山高人、  
学校給食センター長 丸山仁一、学校教育課教育指導室教育指導員 塩野治幸  
書記：学校教育課長補佐兼教育総務係長 等々力洋子、教育総務係 岩原遼子  
傍聴者：報道機関 3名

### ◎開 会

教育部長 定刻になりましたので、ただいまから安曇野市教育委員会平成30年12月定例会を開会いたします。

---

### ◎教育長挨拶

教育部長 では、橋渡教育長からご挨拶とこの後の進行をお願いします。

教育長 12月定例会にあたり、ご挨拶申し上げます。

今年も残すところわずかとなり、寒さも身に堪えるころとなりました。この時期、恒例の重大ニュースの教育部並びに安曇野市17小中学校版をお手元にお配りしてございます。

振り返ると、さまざまなことがあった1年でございました。委員の皆様には、大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。

教育の仕事が未来への種まきと表現してみますと、私たちがまいた種が小さな芽を出していると感じられるところが重大ニュースの中にたくさんあり、これからどう育っていくか大

変楽しみであり、またどう育てていくか私どもの責任の重さも感じているところでございます。

さて、先日12月20日に長野県代表としてこの12月末、そして1月の全国大会に出場することが決まった堀金中学校の3年生と穂高商業高等学校の2年生、計3名が表敬訪問のため来庁されました。年末年始返上で、自身の腕を磨いているこの若者たちに共通しているところがありました。それは、その競技の種目に出会ったのが中学、高校に入ってからだということでございます。

まず、JOCジュニアオリンピックカップ第32回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に出場する長野県選抜選手の百瀬美幸さんは、バレーボールを中学校の部活動で始めたということです。現在平日、休日に拠点である戸倉上山田まで出かけて練習に励んでおり、170センチの身長と左からのスパイクを武器にしているということでございます。現在、高校進学を控えて勉強との両立が大変だとの話でございました。

2人目は、第37回全国高等学校弓道選抜大会に出場する林寛人さん。この人は、憧れて弓道を始めたのは高校に入ってからだというふうにお聞きしました。28メートル先の直径36センチの的は1センチくらいにしか見えないんだそうですけれども、そこに神経を集中させて12射中11射をそこに命中させるという高い確率の腕を上げまして、全国大会の切符を手に入れました。当日は、緊張せず力を出し切りたいと力強く抱負を語ってくれました。

3人目は、第35回全国商業高等学校英語スピーチコンテストに出場する諫山ありささんです。本年、8月に海外派遣中高生記者の一人としてアメリカへ約1週間派遣をされ、そこでは移民問題についてワシントンとニューヨークで人々の考えや思いを取材したそうで、その経験をもとに今回のスピーチのテーマは「突破」に決めると話してくれました。さらに、日系ブラジル人4世である諫山さんは小学校に上がるまで日本語をしゃべることができなくて、さまざまな困難や周りからの差別もあったとこのように話してくれました。全国大会は、自分の壁への挑戦でもあると力強く語ってくれました。英語については、他の人たちと同じように中学生になってから始めたとのことで、小学校から日本語を、中学校から英語に取り組んで全国のスピーチコンテストの県代表の座をつかんだということで大変びっくりいたしました。

以上、紹介いたしました3人はその競技や分野に出会ってからの時間が比較的短いことが共通ですけれども、努力や環境が整いそこに力を注げば、自分の能力を全国レベルまで高めることができる、こういう大きな可能性があることを実感させられました。今回の大舞台で

の経験を自身の自信や誇りとして、これから先もより高い理想を掲げて挑戦し続けてほしいとエールを送ったところがございます。子どもたちに負けないように、私たちが頑張りたいなと思います。

では、本日もご審議よろしく願いいたします。

---

### ◎発議による非公開案件の決定について

**教育長** それでは、本日の会議事項における公開、非公開についてお諮りいたします。

教育委員会の会議については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項において、「教育委員会の会議は、公開する。ただし、人事に関する事件その他の事件について、教育長又は委員の発議により、出席議員の3分の2以上の多数で議決したときは、これを公開しないことができる」と規定されています。

本日の協議議案について、安曇野市情報公開条例第7条第5号に規定する、実施機関並びに国、他の地方公共団体の内部又は相互における審議、検討又は協議に関する情報で、公にすることにより、率直な意見の交換又は意思決定の中立性が損なわれるおそれのある案件として、報告第9号 市史編さん事業（案）についてを非公開とするよう発議いたします。

また、条例第7条第2号、個人に関する情報で特定の個人が識別され、または識別され得るもので、個人情報の保護に該当する案件として、報告第5号 平成30年度児童生徒の指定校変更及び区域外就学者について並びに報告第6号 教育長報告の以上2件を非公開とするよう発議いたします。

このことに関して、委員から発言はありますでしょうか。

(発言する者なし)

**教育長** ないようですので、議決に移ります。

それでは、ただいま申し上げました報告事項3件について、非公開とすることに賛成する方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

**教育長** ありがとうございます。3分の2以上の挙手がありましたので、本件は議決されました。

本日の会議において非公開とする案件は、報告第5号 平成30年度児童生徒の指定校変更及び区域外就学者、報告第6号 教育長報告について、報告第9号 市史編さん事業（案）

についてとします。

会議事項の順番につきましては、議案第1号、議案第1号の1、報告第1号、報告第2号、報告第3号、報告第4号、報告第7号、報告第8号、報告第10号とし、これを公開することとします。以後、会議を非公開とし、報告第5号、報告第6号、報告第9号を扱います。

なお、議案第1号、議案第1号の1の共催・後援依頼にかかわる申請書は、個人または法人に係る情報が記載されているため、非公開といたします。

次に、会議録についてであります。事務局から11月定例会の会議録の校正確認をお願いしてございます。発言の趣旨や字句などで修正すべきところがありましたら、事務局にお申し出いただきますようお願いいたします。

---

#### ◎議案第1号 共催・後援依頼について

**教育長** それでは、協議議案に入ります。

議案第1号 共催・後援依頼についてを議題とします。

担当より説明をお願いします。

**教育部長** 教育部全般に関する案件につきましては私からご説明させていただきますが、各課にかかわる個別案件につきましては、所管する担当課長または担当職員から説明をさせていただきますのでよろしくをお願いいたします。

**教育長** では、議案第1号の共催・後援依頼について、各担当より説明をお願いします。

生涯学習課関連の後援依頼からお願いします。

**生涯学習課長** 「共催・後援依頼について」資料により説明。

**教育長** 続いて、文化課関連の後援依頼について説明をお願いします。

**文化課長** 「共催・後援依頼について」資料により説明。

**教育長** 議案第1号 共催・後援依頼について、ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

(発言する者なし)

**教育長** それでは、この件につきましては異議なしということよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

**教育長** ありがとうございます。議案第1号は、承認されました。

◎議案第1号の1 共催・後援依頼について

教育長 次に、議案第1号の1 共催・後援依頼について、各担当より説明をお願いします。

生涯学習課関連の後援依頼から説明をお願いします。

生涯学習課長 「共催・後援依頼について」資料により説明。

教育長 続いて、文化課関連の後援依頼について説明をお願いします。

文化課長 「共催・後援依頼について」資料により説明。

教育長 議案第1号の1 共催・後援依頼について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

(発言する者なし)

教育長 それでは、この件につきましては異議なしということよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。議案第1号の1は、承認されました。

---

◎報告第1号 安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員の委嘱について

教育長 続いて、報告事項に移りたいと思います。

この報告事項につきましては、安曇野市教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則に基づき、私が専決処分等を行った事柄につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第3項の規定により報告させていただくものです。

では、報告第1号 安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員の委嘱について、担当より説明をお願いします。

生涯学習課長 「安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員の委嘱について」資料を読み上げ。

教育長 報告第1号 安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員の委嘱について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

(発言する者なし)

教育長 それでは、この件につきましては異議なしということよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。報告第1号は、了承いただきました。

---

### ◎報告第2号 後援依頼の教育長専決分の報告について

教育長 次に、報告第2号 後援依頼の教育長専決分の報告について、各担当より説明をお願いいたします。

生涯学習課関連の後援依頼から説明をお願いします。

生涯学習課長 「後援依頼の教育長専決分の報告について」資料を読み上げ。

教育長 続いて、文化課関連の後援依頼について説明をお願いします。

文化課長 「後援依頼の教育長専決分の報告について」資料を読み上げ。

教育長 報告第2号 後援依頼の教育長専決分の報告について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

(発言する者なし)

教育長 それでは、この件につきましては異議なしということによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。報告第2号は、了承をいただきました。

---

### ◎報告第3号 教育部 各課報告

#### (1) 学校教育課

教育長 続いて、報告第3号 教育部の各課報告に移ります。

学校教育課から報告をお願いします。

学校教育課長 「教育部 各課報告」について資料を読み上げ。

教育長 学校教育課からの報告について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

唐木委員 お願いいたします。

ここにはないわけですが、インフルエンザ等の発生状況などはどのような状況か、わかればちょっと教えていただければと思いますが。

学校教育課長 大変失礼いたしました。データとして本委員会にお配りさせていただきたいと思っております。

教育長 教育長報告の中でも若干させていただければと思います。

唐木委員 そこで結構です。

教育長 そうですか。では、当日配付の教育長報告でございますけれども、インフルエンザに

よる出席停止者等を行いたいと思います。

他に質問、ご意見等ございますか。

(発言する者なし)

**教育長** では、学校教育課の報告についてはよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

## (2) 生涯学習課

**教育長** では、続いて、生涯学習課から報告をお願いします。

**生涯学習課長** 「教育部 各課報告」について資料を読み上げ。

**教育長** 生涯学習課からの報告について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

**唐木委員** お願いいたします。

わからないところがあるので教えていただきたいのですが、放課後児童クラブのアンケートにかかわってでありますけれども、ちょっと中身が全部読み切れなくて申しわけございません。

1 ページ目のところにも、小学校6年生までの受け入れ拡大や入所の希望が寄せられているということが書かれていて、2 ページ目の中段のところには児童クラブで子どもを見守るスタッフの確保とともに開所場所を用意して、遠くない将来に受け入れることを進めていくことを求められているということで、方向性がここに出ているのかなと思うんです。それから、もし誤解があったら申しわけないんですが、6 ページのところ、四角囲いラインボックスの中に趣旨・考え方ということで子どもたちの放課後と、教育の場といいますか、育ちの場として児童クラブをつくっていくということでもあります。今、考えられている範囲で結構でございますけれども、安曇野市として6年生までのところの児童クラブについて、積極的に進めていくという方向なのか、どうかということが1点目。

2点目が、6年生まで拡大したときに当然1年生から4年生までの対応と5年生、6年生では内容的にはかなり違った要素も出てくるかと思うんですが、居場所づくりという範囲で考えていくのか、それとももう少し違った要素のところまで広げていって内容的に考えていくのかどうか、もしお考えがありましたら教えていただきたいと思います。

以上です。

**生涯学習課長** 1点目の6年生まで広げていくのかという問題につきましては、このアンケートでどういう結果が出るかはこれから結果を見ながら検討はしていきたいんですけども、

今の中ではやはり5、6年生も今の社会情勢の中のニーズからいくとご希望はあるんじゃないかというふうに考えております。

なので、できたら6年生までの方法というのは考えていきたいと思っておりますけれども、それにはまずそこでやる場所、スペースの問題と、あと人員体制の問題がございます。なので、今の安曇野市の状況でいきますと余裕教室も学校のほうに聞きたいということで、今スペースの問題につきましては余裕教室があればということで新しくどこかに建てるとかそういう問題についてはなかなか厳しいものがございますので、今の余裕教室の活用を考えているんですけども、余裕教室があったとしてそれが実際に児童クラブに使えるのかどうか、学校の2階だとか3階だとか校舎の真ん中に余裕教室があったとしても、児童クラブをやるにはトイレが必要だとかいろんな問題が出てきまして、学校とのセキュリティーの問題が出てきますので難しい点がございます。できれば、そういう余裕教室があって実際に学校でもいいよ、使うことができますということになれば、あとは実際にやっていただける、今は社会福祉協議会のほうも人員不足ということもなかなか聞いておりますので、そこら辺のところも調整する中でそういうことがうまく合致してやれば広げていきたい、と。それと、できれば全部じゃなくて一斉ということは難しいので、ある部分のできるところから対応していければということは希望としてございます。そのためのアンケートとしたいというふうに考えております。

それと、今4年生と5、6年生の違った様子という形で私どもも、そこまではなかなか検討課題も今おっしゃられたらそうかなというふうな形にも思いますが、これはやはりやっていただける社会福祉協議会とかそういうところも検討する中で、児童クラブのメニューが違ってくるのかどうなのか、そこら辺のところはもうちょっと検討しながら進めていきたいと思っておりますので貴重なご意見だと思っておりますので、これ以後検討していきます。

教育長 他にございますでしょうか。

(発言する者なし)

教育長 では、生涯学習課の報告についてはよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

### (3) 文化課

教育長 では、続いて、文化課から報告をお願いします。

文化課長 「教育部 各課報告」について資料を読み上げ。

教育長 文化課からの報告について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

横内委員 12月6日木曜日に、穂高南小学校の学校ミュージアム、私も見させていただきました。美術館になじみがない子ども、行くことがあまりない子どもというのは多いと思います。なので、こういう機会はとてもありがたいことと思うし、子どもたちは子どもの感性に守られ触れている、そういう学びの時間が持てているなど拝見してきました。

あれだけの量の美術品を学校に運び入れて適切に配置して、子どもがわかりやすい解説をするというのは大変なことだと思いますけれども、本当にありがたいことだと思います。また、穂高南小学校の講堂の大きさがちょうどよくて今まで見させていただいた学校ミュージアムの中でとてもいい大きさ、児童数に合っている大きさだったなと思いました。

以上、感想です。

教育長 ありがとうございます。

他にございますでしょうか。

(発言する者なし)

教育長 では、文化課の報告についてはよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

#### (4) 図書館交流課

教育長 続いて、図書館交流課から報告をお願いします。

図書館交流課長 「教育部 各課報告」について資料を読み上げ。

教育長 図書館交流課からの報告について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

(発言する者なし)

教育長 図書館交流課の報告については、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。報告第3号は、了承いただきました。

---

#### ◎報告第4号 安曇野市学力・体力向上4カ年計画のまとめ

教育長 次に、安曇野市学力・体力向上4カ年計画のまとめについて説明をお願いします。

学校教育課長 「安曇野市学力・体力向上4カ年計画のまとめ」について資料を読み上げ。

教育長 報告第4号 安曇野市学力・体力向上4カ年計画のまとめについて、ご質問、ご意見

等ございましたらお願いします。

**須澤委員** 詳細なおまとめをいただきまして、ありがとうございました。非常に、いい報告内容だと思いました。

先ほどの授業の「ねらい」、設問8です。これは、教員としては最低限必要なことですのでこの「ねらい」という部分が8割を超えていたと、これは非常に先への展望も十分あると、こんなふうに思います。

それから、36ページ目です。

設問12の主体的に取り組んでいるかどうかという、そういうのを考えて臨んでいるか。これが非常にやはり90%以上ということで、これは学校訪問をさせていただいたときもこれを強く感じました。主体的というのは、昔の教え込む授業と変わってきている非常に大事なところで、新CSに向かって各学校いい方向だと思いました。

設問4、課題の部分、家庭学習です。これは、学校側が手引きを出しているわけですが、いかに家庭学習するかは、41ページに(d)の丸2番目に、教員自身の教材研究時間確保、この要望があるとともにやはり家庭のご協力、これが欠かせないと思います。いかに、この結果をご家庭に周知していくか、これも大切だということを感じました。

以上、感想でございます。

**教育長** 他にございますでしょうか。

**二村委員** お願いします。

学力・体力向上4カ年計画のまとめということで、この報告書を見るのを楽しみにしておりました。

日々の指導主事の先生方による学校訪問の記録からも、先生方の指導内容とともに現場の先生の抱えている問題とか不安とか、またそれに関する教育委員会としての対応、受けとめ方、いろんなことがここに書かれていると思うんです。

一つだけ、こののところにありました県下でも当たり前前に整備されている学校が増えているというPCやタブレットを各校に備えてほしいという具体的な要望があったんですが、学校に大小にかかわって本当に大小で整備されている学校がどこなのか、また限られているところではないかなと思いますが、この希望というのは学校側からかなり出ているのでしょうか。どうでしょうか。

**学校教育課教育指導室教育指導員** 今、お話いただいた45ページ、この当たり前というところについてはそれぞれ個人差があったり、それから自分が歩んできた、今までの経験してきた

学校、こういったことによっては何か含みがあるというのはわかりますけれども、多くの先生方からやはりPCとかタブレット、こういったものを使って子どもたちに授業をしてみたい、またそれが流行であるというような状況のことについては利用していくところでございます。

**学校教育課長** 若干、補足をさせていただきたいと思います。

ご承知のとおり、中学校全7校に電子黒板を整備させていただきました。また、次年度の予算要求に小学校へのいわゆるデジタル教科書というものの予算要求を、今させていただきまして財政部局にもその必要性等をきちんと申し上げてきたところでございます。

小学校にも、また予算要求、いわゆる実施計画のほうにいきたいと思いますけれども、できるだけ早くそういったものを小学校に導入していきたいと思います。

小学校側からも、現在中学校の電子黒板を見た授業の様子をご覧いただく中で、やはり小学校にも拡大してほしいという先生方のご要望の寄せられておりますので、その思いについてはきちんと前向きに教育にいけるようにさせていただいて取り組んでいきます。

以上でございます。

**教育長** 他にございますでしょうか。

**横内委員** 先生方の率直な気持ちを知ることができたこのアンケート結果を興味深く拝見いたしました。ありがとうございます。

私たちは、学校訪問では学び合いの姿をたくさん見てきました。小学校も中学校も以前と授業が変わってきているなという感想を私自身とても持ちました。

その中で、子どもの発した言葉を大切にしてくれる先生ですとか小さな発言をその場で褒めてくれる場面とか先生の温かさとか人柄をすごく感じました。子どもたちが失敗とか間違いを気にしないで自由に発言して、こう思うとかこうしたいとかこう考えると、そういう自分を表現できる授業というのを目指して行ってほしいなと思って、このアンケートを読みました。

自分の子どももそうですけれども、太鼓を教えている子どもたちに学校どうと聞くと普通と答える子がすごく多くて、今日はどうだったと聞くと普通と答えるんですが、子どもたちが学校生活の主人公になっていないんじゃないかなと思うことがままあります。特に、中学生は決まりを守ることをいつも言われていて毎日楽しくないわけじゃないんだけど、子どもの不満は相当多いんじゃないかなと思って接しています。集団の中で、自分が表現できる場所があってそれを認めてもらえることが大切かなと、今進めている学び合いの学習がそういう子どもの自立につながってほしいなと思います。

以上、感想です。

**教育長** ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

**唐木委員** お願いいたします。

安曇野市学力・体力向上の4カ年計画のまとめという、今日タイトルでいただいているわけなんです、教職員のアンケートのそれもかなり生の状態のデータを示していただいて、非常に先生方がどういうふうこれを捉えてきたかということでは、419名の職員の方々の気持ちがかなり挙げられていてまとめにもありますが、温度差もかなりあるかなという印象を持ちました。

それで、教育委員会として4カ年計画という形でやっていきましたのでこれをそのまま学校へ戻すのも一つの手、一つの方法でありますけれども、やっぱり教育委員会として何らかの総括を行うことも必要ではないかな、と。つまり、この14ページ分をこれを戻してしっかり読めよというのはこれはなかなか大変ですし、ではそこから何を抽出してくるのか学校ごとに任せるというのも手だと思いますが、ちょっとそれを検討していただきたいな、と。

それから、もう1点は教職員のアンケートがここにあるわけですが、一番肝心の子どもたちの学力、体力については扱っていないのでちょっと置いておくとして、学力がこの4カ年計画で伸びるべきものが伸びたのかどうかということになるわけです。毎年報告をいただいているわけですが、あれを例えば4年間の中で丸とか星印とかそれが増えたとか減ったとかそれも一つの方法ではありますが、毎年毎年対象となる子どもたちは違ってくるわけなんです。そうすると、一番中心となるべき子どもたちにどういう成果を出すことができたかという考察までもやらなくちゃいけないんじゃないかな、と。例えば、分布を見たときに平均のところまでいかない子どもたちの底上げがどのくらいできたんだろうかということは、これは年度ごとに比較できる中身でもあるわけですね。平均点というのは比較しても、いいデータになるかどうかは非常に考察がいるわけですが、子どもたちがどうだったかということもやっぱりこれは検討してみなくちゃいけない。そうしなければ、4カ年のまとめということにはなりにくいのではないかなということをおもいました。

それから、今後のことになるわけですが、この4カ年やってきたことをこれから次の第2次の4カ年計画または5カ年計画というようなところに発展をさせてほしいなという思いがあるわけなんですけれども、そうするとどこに今度重心を置いて、安曇野市の教育としてどういうところにポイントを置いて4カ年ないし5カ年の実践を行っていくのかという

ことが問題になっていないかと思えます。

先生方のアンケートの中にも、4カ年計画を知りませんでしたということがかなり出てきたり、それから教職員は3年から6年ぐらいで異動になる者が多いわけですし、4年間継続して研究を進めていくというのがかかわってくると難しいわけですので、各学校で蓄積してそれが各学校の中で蓄積されていくような方法をとっていかないといけないんじゃないかなということを感じました。

それから、もう1点になりますが、今回の4カ年計画の中で指導主事が果たした役割というのは非常に大きいんじゃないかなというふうに評価をしております。毎回、教育長報告の中からも指導主事がどのように学校でかかわっていたかということ報告をいただいて本当に心強く思っているわけですが、いろいろな事情の中でその配置継続が非常に難しいということもお聞きしているわけです。そうすると、それを補完する、または同じような機能を持たせていくような研究、または事業改善の手だてをどう考えていくのかということとは私ども教育委員会に課せられた非常に大きな問題なのではないかなと、宿題ではないかなというふうに思います。

今回、出していただいたアンケートの結果を総括し、そしてまとめとして来年度以降の課題のところも抽出して、来年につなげるような形で継続をしていただけたらということは思います。

以上です。

**教育長** よろしいですか。要望としてまとめていただきたいと思えます。

他にございますでしょうか。

(発言する者なし)

**教育長** では、この件につきましては異議なしということでしょうか。

(「はい」の声あり)

**教育長** ありがとうございます。報告第4号は、了承いただきました。

---

#### ◎報告第7号 穂高プールの運営方針及び安曇野市体育施設条例の一部改正について

**教育長** 次に、報告第7号 穂高プールの運営方針及び安曇野市体育施設条例の一部改正について説明をお願いします

**生涯学習課長** 「穂高プールの運営方針及び安曇野市体育施設条例の一部改正について」資料

を読み上げ。

**教育長** 報告第7号 穂高プールの運営方針及び安曇野市体育施設条例の一部改正について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

**二村委員** お願いします。

穂高プールの件については、さまざまな報道でああ、そうなんだ、そうなっていくんだというようなことを報道等で理解をしております。

行政側としては、説明会を開ける状況を持っているわけですが、一般の市民のほうでは同じ思いの人が思いを共有して、またここではなくて集団で組織を立ち上げて市側にいろんなことを言わなくてはいけないような環境にあるのではないかなと思います。プールが閉じることが平成33年9月30日をもってということが決まりましたけれども、一番下の今後小さなお子さんが水に安全・安心に親しむことのできる市内の施設の周知を図っていくということは説明の欄に書かれていますけれども、安全・安心に親しむことのできる市内の施設というのは今のところどこなのか、どこにするのでしょうか。わかっている範囲で教えていただければなと思います。

**生涯学習課長** 二村委員のご質問にお答えします。

今の水に安全・安心に親しむことのできる施設、一例でございますけれども、一つには豊科南部総合公園の中の公園施設でございます噴水といいますか、出ているところ、穂高の常念ふれあい公園のところとかかじかの里、そういうようなところを紹介する中で今現在有効的に利用していない状況もあるかもしれませんが、そこら辺のところを有効に利用していく。また、アルプス国営公園のほうにもじゃぶじゃぶ池等ございますので、そちらのほうを紹介する中でこれは国との関係がございますので、そちらのほうをこの3年間の中でもしかすれば有効に使えるような形をとればお子さんたちが安全に水に親しむことができるような形をとれるのかなというふうに一例でございますが、今後検討していきたいというふうに思っております。

**教育部長** 若干、補足させていただきます。

穂高のプールにつきましては、昨年度ひとまず説明会を行ってございましたけれども、プールの存続を求める皆さんの声も大きく、今年1年かける中で方向を出していくということ。その中で、今年は市民説明会等を行いましたし追加の説明会も要望があってやっております。

あと、市民利用者アンケート等もとる中で市といたしまして、プールにつきましては既に一番浅いチビッコプール、漏水が発生していて地上配管になっているという事実もございま

す。築30年、耐用年数を迎える中ではやはり施設としてはそろそろ限界なのかなということ  
を思っており、そこが一番ではあります。その中で、市に今回守る会の皆さんが自分たちで  
組織を立ち上げて、1万人を超える署名等もされたということ。あと、後ほどご紹介いた  
しますけれども、その中で市としては営業については3年程度だましましいけるんじやな  
いかなという中で、3年延長したというところは十分市民の方のご要望に応じているつもり  
ではございます。

ただ、他の部分がやはり一番は借地であること。さらには30年経過する中で、3億円以上  
の借地料を払っているという施設であること。このまま続けるには、ずっとそのお金を払い  
続けなければいけないという中では市としては再配置計画の中で、老朽化も含む中での廃止  
という方向を決めさせていただきました。ただ、今後につきましては今年度の方針が決まれば、  
また市民の皆様にご説明していくということ、そういうことをしていくということをお伝え  
しておりますので方針が決まりましたら年明け2月くらいになると思っておりますが、また説明会  
を行っていく予定ではあります。

ただ、先々週ですか、守る会の方から教育委員会へ要望書を出したいということで来まし  
てお話をそのときに少ししました。その前には、市長が一般質問の答弁の中で穂高プールに  
ついては廃止を考えているし、ただ今の3年間営業を続けて、3年後には廃止をしたいとい  
うことを伝えた後でしたのでその話も若干いたしました。ただ、そのときには守る会の皆さ  
ん、代表の方が、市の方針はわかったので今後も私たちと協議するというよりは、市民と協  
議をしながら市民の納得いくものというお話をされてはありました。ただ、皆さんの求めて  
いるのが基本的にやっぱりプールを求めている、と。ただ、私どもとしてはやはりプールの  
な施設というのを現在考えていない、せいぜいじゃぶじゃぶ池程度になるのかなというこ  
ろもございまして、なかなか今後についても平行線にはなっていくのかなと思っております。

ただ、最終日提案をしたところ、議員の皆さんの賛成討論の中ではあづみ野ランドが赤字  
にはなっている。その中では、その改修というような意見とかも出ておりましたので、ま  
たちちょっと存続を求める市民の皆さんがまたそういう方向になるかもしれない、と。

ただ、今回こうやって議会での議案は通りましたが、やはりこういうことは多分政治に関  
心のなかった皆さんが政治に関心を持たれて、こういう署名活動をされたというようなこ  
とはよいことだったのかなと思っております。

以上でございます。

**教育長** 他にございますでしょうか。

**唐木委員** お願いいたします。

かなり議会でもいろんな激しい議論が行われたということは想像がつくわけなんですけど、市民説明のときに説明会という方法でやっていることが多いわけなんですけれども、教育委員会の立場とすればやっぱり情報というかこういう状況ですよということを説明会を開きながら、他にもう少しみんながこういう状況なんだねということを知っていけるようなそういう方法というのはないのかなということをちょっと思うわけなんです。

それで、この件に関してといえば説明会ですと、延べ何人になるんですか。

**生涯学習課長** 10回です。

**唐木委員** 10回で、全部で何人でしたか。

**生涯学習課長** 150人前後くらいだと思います。

**唐木委員** 150人ぐらいなんです。10回で150人ということは、1回15人ぐらいということで非常に関心のある方はそこに出向いていくだろうけれども、多くの方々は説明会に足を運ぶということなかなかハードルが高い、と。そうすると、状況説明というか情報提供というようなことがもっと違う方法でできないのかなというような思いもちょっとあるんです。

説明会を開いているから、聞きに来ない、聞く機会をちゃんとつくっているじゃないかと、それも一つの論でありますし、情報に触れて違った形の触れ方、情報提供の仕方というのも考えてもいいのかな。そうすると、それをやっていかないと今度は論の問題から感情の問題に移っていってしまうと、なかなか歩み寄るといって、理解をお互いにし合うということが難しくなるケースだなと思うんです。それを、自分で代案を持っていなくて申しわけないんですけれども、できたらいいなとそんな気もいたします。

**教育部長** 今、唐木委員がおっしゃられたことを市の広報紙で、たしか今年の2月号から公共施設の再配置についての特集を組みまして、最初は公共施設の再配置計画はどんなものであるかということ、たしか3月に穂高プール、4月に長峰荘というようなことで一応広報紙でも何で公共施設再配置が必要なのかということであるとプールや長峰荘の現状というものはその中でお伝えをしてはおります。

当初、この本庁舎でやる説明会、昼、夜ですが、平日の夜と休日の昼間、あとは4地域を回るというようなことで予定しておりました。計6回予定しておりましたが、ただ穂高の説明会ときには、来られている方から子育てしているお母さんたち、こんな夜になんて来られないよということをおっしゃって、平日や休日の昼間の説明会を追加で4回させていただいた経過がございます。

市のほうから情報の発信というのが、やはりもう限られている。やっぱりホームページであるとか広報紙がどうしても主流になる。あと、説明会に今150人ぐらいとは言いましたが、実際には複数回おいでになっている方も大変おいでになりまして、実数としては少ないのかな、と。署名も1万人以上の署名もございます。ただ、ご家族の名前をお一人で書いているケースであるとか小さなお子さんの名前であるとか穂高プールの利用者アンケートをやった結果、半分くらいの方は市内の利用者ということがわかりました。年間の利用は、今年は2万6,000人ぐらいなんですけれども、半分だとすると市民の方が1万3,000人か、実際には複数回プールに行くかと思うんですけれども、そんなことで複数回とか来てくれる方もいるので実際に穂高プールを利用した実数というのはわからないんですけれども、多分そんなにも多いものではないのかとは思っているところがございます。

委員会のほうで、市民に寄り添ってというのは何回も言われましたけれども、私どもとしてはやはり言えること、できる部分というのはどうしても限られてくる場所もございます。市民の皆さんの言うとおりに、ではこのプールを廃止してもどこかにプールをつくっちゃえばいいよということであるのなら多分話は非常に簡単だと思います。

ただ、やはりなかなかそういうことができない状況、今も予算の査定は始まっておりますけれども、11月の臨時会の中で学校のエアコン等、すごい無理をしていただけてつけていただく結果となります。ただ、逆に他の施設の修繕等であるとかそういうものがやはり先延ばしされているという現実がございまして、限られた財布の中でやっていくには私ども再配置計画という、基本的には公共施設、残すべきものとやはりいろいろ考える中では将来持っても統廃合であるとか条件の中で、やはり優先する施設とそうでない施設という区分けをしてやっているつもりではございます。ちょっと答えになっていないかもしれませんが、お願いいたします。

**唐木委員** ご苦労されていることは、本当に察してあまりあるところではあります。

**教育長** 今後も説明責任を果たしていくということは、私どもの責任でございますので知恵を絞りながらしていきたいと思えます。

また、途中経過につきましても報告させていただきますので、またご意見があれば動きまします。

他にございますか。

(発言する者なし)

**教育長** では、この件につきましては異議なしということによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

**教育長** ありがとうございます。報告第7号は、了承いただきました。

では、ここで10分ほど休憩をとりたいと思います。3時10分再開いたします。

(休憩)

---

**◎報告第8号 安曇野市議会 平成30年12月定例会の結果について**

**教育長** 再開したいと思います。

報告第8号 安曇野市議会平成30年12月定例会の結果について、教育部長より説明をお願いします。

**教育部長** 「安曇野市議会 平成30年12月定例会の結果について」資料を読み上げ。

**教育長** それでは、報告第8号 安曇野市議会平成30年12月定例会の結果について、委員からご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

**唐木委員** お願いします。

最後の要望書のところなんですけれども、太字のところでありますけれども、市民との対話を通して、子どもからお年寄りまで多くの人にとってという文章があるわけですが、この市民との対話を通じてというのは、具体例としてはどんなことが考えられるのか。例えば、穂高プールを守る会では窓口の一つになるのか、具体的な中身がちよっと見えないんですが、これはどんなふう理解したらいいんでしょうか。

**教育部長** これに関しましては、恐らく行政だけで一方的に決めずに今後においては市民と対話を続けてほしいということだと認識はしております。

**唐木委員** そうすると、どんなような手段が考えられますか。

**教育部長** 議会の中でもいろんなご意見が出ましたけれども、要は検討委員会をつくったらどうかとかそういうお話も出ました。ただ、私どもとして新たにプールとかを計画していない段階で検討委員会を立ち上げて、なかなかこれは難しいものがあるという認識をしております。

私どもといたしましては、基本的にはこの結果をご報告するような説明会を年明け2月くらいに行う予定であります。その中で、恐らくはどんな要望が出てくるかによりましてけれども、そんなに費用かからずに現在ある公園等の施設を少し充実させるというようなことであ

れば市内での検討は可能かと思っております。そういう方向でよければ、ワークショップ的なものをできるかなと思っております。ただ、市民の皆さんの要求がプールとしての機能移転であるということであると、なかなか現段階では市の方針としてそういうことを考えておりませんのでそうなるとなかなか難しいものになっていくんだろうなとは思っております。

それから、市民説明会、今年は10回やる中では説明会の中では、市民の方にしてみると私ども行政というのは上から押しつけているんだろうなというところも多分あるのかな、と。プールはレジャー施設じゃないですかと言ったら、そんなことを言うなら観光の方を呼んできかないさいとか、あとは要は財政面を考えずにプールのことを語れというようなことを言われまして、守る会の皆さんのフェイスブックの中では私どもが言ったことが書いてございますけれども、中には〇〇係長がこんなことを言って残念だとかそんなことを書かれているのが事実でございます。

以上でございます。

**教育長** 他にございますか。

(発言する者なし)

**教育長** それでは、この件につきましては異議なしということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

**教育長** ありがとうございます。報告第8号は、ご了承いただきました。

---

#### ◎報告第10号 平成31年安曇野市成人式について

**教育長** 次に、報告第10号 平成31年安曇野市成人式について説明をお願いします。

**生涯学習課長** 「平成31年安曇野市成人式について」資料を読み上げ。

**教育長** 報告第10号 平成31年安曇野市成人式について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

(発言する者なし)

**教育長** この件につきましては、異議なしということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

**教育長** ありがとうございます。報告第10号は、了承いただきました。

以降の議題については、非公開といたします。

(以後、非公開会議)

---

◎報告第5号 平成30年度児童生徒の指定校変更及び区域外就学者

◎報告第6号 教育長報告

◎報告第9号 市史編さん事業（案）について

---

(以後、公開会議)

◎その他

(1) 最近の新聞紙上における教育委員会関連記事の報告について

教育長 次に、その他の事項を取り扱います。

参考資料としまして、今回も教育委員会に関連する新聞記事を配付させていただきました。

(3) その他

教育長 次に、その他の事項に移りますが、委員の皆様または事務局から何かありましたらお願いします。

(発言する者なし)

教育長 では、特にないようでございますので、以上で本日の定例会に付議させていただいた案件は全て終了いたしました。委員各位には、ご協力いただきましてありがとうございます。

---

◎閉 会

教育部長 では、以上をもちまして、安曇野市教育委員会平成30年12月定例会を閉会といたします。大変お疲れさまでございました。

皆様、良い年をお迎えください。